

## 第3回世界健康安全保障アジェンダ(GHSA)ハイレベル会合の報告

### 開催日、場所

【開催日】 平成28年10月12日(水)～14日(金)

【場所】 オランダ(ロッテルダム)

【出席者】 厚労省山本審議官、関谷補佐、外務省北川事務官、JICA山形課長、木村ジュニア専門員

### 概要

- GHSA(Global Health Security Agenda)とは、世界各国における感染症対策の能力を向上させることを目的として、既存のWHO等の感染症対策の枠組み(IHR:国際保健規則)を、各国とWHO、FAO、OIE等の国際機関とも連携して強化する多国・機関間の取組。米のイニシアティブにより2014年2月に発足。11の具体的なアクションパッケージ(AP)のうち、我が国はリード国として薬剤耐性(AMR)に、貢献国としてラボシステム強化に貢献することを表明済み。
- 本会合では、各国、国際機関、NGO、民間企業など幅広いスークホルダーが参加。今般会合ではマルチセクターの連携の必要性が大きなテーマとして取り上げられ、特に、IHRの各国での実施強化に向け、国際的及び国内のコーディネーションの重要性が強調された。
- また、各APに基づく進捗報告や今後の取組についても協議。AMRでは、国連総会ハイレベル会合を受け、今後のAMRのモニタリングをフォローアップする枠組について検討された。ラボシステム強化においては、地域アプローチについて報告された。今後、日本の優先国等において、我が国が技術協力、無償資金協力等を通じた支援を行う際に、本APと関連の強いサーベイランスの支援も同時に行うことも検討する。また、Joint External Evaluationへの協力も行っていく予定。
- JICAがパネルディスカッションに登壇し、IHR遵守のためのキャパシティを保健システムの一部として強化していくことが必要であることなどにつき発言し、今後のGHSAの取組への期待を述べた。
- 来年の第4回GHSAハイレベル会合の開催国はウガンダ、ステアリング委員会の議長は韓国であることが発表された。